

表6 「VIPによる治験モニタリング体験プログラム」についての学生アンケートの結果（抜粋）

1	本演習プログラムに参加してよかったですか？	非常に良かった	13
		良かった	2
		良くも悪くもなかった	0
		悪かった	0
		非常に悪かった	0
2	自身の将来の進路を決めるにあたって参考になりましたか？	大いに参考になった	9
		参考になった	6
		大きくは参考にならなかった	0
		参考にならなかった	0
		全く参考にならなかった	0
3	「医薬品開発論」の講義と比べていかがでしたか？	相当有意義な内容であった	3
		有意義な内容であった	12
		同じ程度有意義であった	0
		講義の方が有意義であった	0
		講義の方が相当有意義であった	0
4	講師の先生方のお話はわかりやすかったですか？	非常にわかりやすかった	8
		わかりやすかった	7
		わかりやすくもわかりにくくもなかった	0
		わかりにくかった	0
		非常にわかりにくかった	0
5	講師の先生方のお話の内容は新鮮でしたか？	非常に新鮮に感じた	10
		新鮮に感じた	5
		特に新鮮とは思わなかった	0
		新鮮に感じなかった	0
		全く新鮮に感じなかった	0
6	具体的に何が新鮮でしたか？	別表参照	
7	教材はわかりやすかったですか？	非常にわかりやすかった	1
		わかりやすかった	11
		わかりやすくもわかりにくくもなかった	3
		わかりにくかった	0
		非常にわかりにくかった	0
8	教材の内容は新鮮でしたか？	非常に新鮮に感じた	13
		新鮮に感じた	2
		特に新鮮とは思わなかった	0
		新鮮に感じなかった	0
		全く新鮮に感じなかった	0
9	具体的に何が新鮮でしたか？	別表参照	
10	より有用な医薬品を開発できる実践型人材を育成するために本演習プログラムは有用ですか？	大いに有用である	8
		有用である	7
		特に有用とは思わない	0
		有用でない	0
		全く有用でない	0
11	より迅速に医薬品を開発できる実践型人材を育成するために本演習プログラムは有用ですか？	大いに有用である	7
		有用である	8
		特に有用とは思わない	0
		有用でない	0
		全く有用でない	0

表7 講師の先生方のお話の内容について、どの点が新鮮でしたか？

- 
- (C) 具体的にどのような内容の仕事を行っているかなど、「開発」の裏側をじっくり聞くことができたことが新鮮でした。
- (D) 実際にモニターとして働いている方が、医者が説明にとってくれる時間の中でいかにアピールするかのコツを教えてくれたこと、会社内の雰囲気や必要とされる職種を教えてくれたことです。
- (E) 開発や、モニターに関する、現在の状況を交えた生々しい話が聞け、一部ではあると思うが開発・モニターに関する仕事の内容がつかめた。
- (F) “開発”のお仕事が具体的に何なのか、をよく分かっておらず、MRに近いような形で、ノルマをもって、治験の症例を集める、というのが少し驚きでした。思ったより営業に近いのかな、とも思いました。
- (G) 開発職の実際、転職、合併後の環境変化
- (H) 治験については大枠は分かっていたのですが、くわしい内容や実際の仕事もわかったことが新鮮でした。
- (I) 実際に現場で働いている方から、業務の内容から日常生活に至るまで、細かく、具体的にイメージしやすい話が聞けたこと。
- (J) 普通ならばお話を伺うことのできない、様々な経験を積まれてこられた優秀な方々に、多岐にわたるお話を聞かせていただいたから。
- (K) 治験実施計画書などの普段絶対に見ることのできない資料を見ることができて、新鮮でした。
- (L) ふだん聞けない、内部事情等が聞けて、進路を決める手がかりになると思う。
- (M) 様々な製薬企業の裏事情が聞けた。開発業務がどんなことをするのか体験できたのがとても良かった。
- (N) CROや開発の仕事内容に関して、知らないことが多かったので新鮮でした。
- (O) 治験に携わる者とお話をする機会が今までなかったので、治験の進め方、会社の仕事の内容など、聞くことすべてが新鮮でした。
- (P) 仕事の内容や、生活がどのようなだったか、など経験に基づいてお話し下さったこと。医師への治験協力の打診のデモンストレーション。
- (Q) 実際に開発の現場で働いておられる方のお話だったので、「どういふところに気をつかう」とか「こういふところが大変」といふような、教科書には載ってないようなお話をきくことができたのがよかったです。
-

表8 教材の内容について、どの点が新鮮でしたか？

---

(C) 実際に治験を行うプロトコルなど、普通では見られないような資料が見れて、とても新鮮でした。

(D) 実際に使用するプロトコルに近い資料を使ってプレゼンを考えたことです。

(E) プロトコルがとても詳しく書かれており、普段は決して見るできないようなものなのでそういう意味において、内容以外に関しても新鮮に感じた。

(F) 普段見られない、実際のものに近いプロトコルなどにふれられてよかったです。また、そのようなプロトコルや膨大な資料を作成するのは大変だろうと思われ、その辺り詳しく開発の仕事内容や忙しさを理解していなかったので、新鮮でした。

(G) 治験実施計画書、同意書（患者へ実際にどのような文書説明を行っているか）

(H) 社外秘の資料も拝見でき、しかもそれを存分に利用した学習ができたこと。

(I) 実際、開発業務に関わらないと見られない文書を見れた点。

(J) やはり、普段であれば絶対に目にすることのできない資料を用意していただいたの講義やロールプレイであったので、知的好奇心が大きく引きつけられた。

(K) 治験の目的、選定基準など、細かいことがくわしく書いてあり、同意書も初めて見たので、新鮮だった。

(L) 治験の極秘のプロトコルが見れたこと。

(M) 実施計画書などは見ることができただけでとても大きな経験だった。

(N) 治験実施計画書の見本は、自分で手に入らないので、新鮮でした。

(P) 実際に現場で使用しているものや、それに近いものだったこと。

(Q) 開発に際して具体的にどんな情報が必要なのか、今まであまりうまくイメージできなかったが、今回の教材でそれがよくわかったため。

---

表9 本プログラムに関する感想、ご意見を記載してください

- 
- (G) とても貴重な体験ができたと思います。cmicの方々もお忙しい中、本当にありがとうございました。
- (D) 佐光さんが柴田先生を医師のモデルとして行ってくれた、治験の打診デモンストレーションはモニターの仕事を理解する上で、とてもためになりました。(中略)他のCMICの方々のお話も、開発の仕事内容、やりがい、資質など多くのことを学ばせてくれました。このような機会を受けて下さりありがとうございました。ぜひ来年も開講して現3回生にもいい経験をさせてあげてもらいたいです。そして他の業種の方が来られるなら私も参加したいです。
- (E) 非常に貴重な体験をさせていただき、感謝したいと思います。何にせよこうしたプレゼンの発表は後々生きてくると思います。ざっくばらんに様々な話をしてくださった先生方には、本当に感謝します。また、こうした機会をもうけて下さった先生にも感謝の言葉が付きません。ただ、3日間で、あのスケジュールはなかなかハードでした。プレゼン資料の作成や、発表練習をする十分な時間が確保しにくい状況で自分なんかはぶっつけ本番で何とかしのぎましたが、中には非常にうまく発表されている方もいて、すごいなと改めて感心しました。何にせよ、少なくともあと2年半の学生生活の中で、もっと自分自身を磨かねばと意識するきっかけをもらいました。もちろん開発、モニター業務、その他製薬企業に関する生々しい話も将来の進路を決める上で大変参考となる情報でした。
- (F) 積極的に参加すると、色々情報が得られて、色んな練習も出て、とても勉強になりました！ありがとうございました！！
- (H) プレゼンする上での注意点を数多く学ぶことができた。
- (H) 普通なら聞けない話を聞けて、いい体験ができました。その分危機感も増えましたけど。
- (I) 第一線で働かれている方の生の話が聞けたことはとても有益だったと思います。
- (J) すごくためになりました。
- (J) 実践的なロールプレイ、貴重なお話等、将来を考える良い機会になりました。
- (K) 開発部門における具体的な仕事内容を知ることができてよかった。
- (L) プレゼンをほとんどやったことがなかったので、これからの生活に役立つよい経験になった。
- (M) 結構ハードでしたが、とても有意義だったと思います。
- (N) 3日間という短い時間で、医師打診とスタートアップの両方の準備をするのは、時間的余裕がなかったので、参加者を半分ずつにわけてどちらかを担当という形でも良いかと思いました。
- (N) 最後のまとめで代表者の発表は、学生としてはあまり必要ないかと思いました。
- (O) 学生の段階では、見聞きできないようなお話、資料を提供していただいて、就職活動や、職業えらびをはじめのためにとても役に立ったと思います。
- (O) 製薬業界では、経営統合が激しく行われていることは、知っていましたが、そのような厳しい業界であっても、自分の職に対してプロ意識をもっていれば生き残っていけるというお話に、とても感銘をうけました。
- (P) 開発に携わっている人がどのような方なのか、実際にお会いして知ることができたのがよかった。
- (P) 自分の進路を考える上で、とても参考になった。
- (Q) 大変魅力的で、考えさせられるプログラムでした。
- (Q) 十分なサポート体制(シミックの方が待機してくださっている)が整っていたとはいえ、演習へのとりくみにくさを感じました。
- (Q) 少人数のグループでひとつのプレゼン資料を作成するくらいでもよかったのではないかと思います。
- (Q) 4回生で医薬品開発論の講義をうけるまで、開発とはどういうものかよくわかっていなかったのですが、3回生までに、その流れについてざっくり説明するような授業があれば3年次の開講でもよかったのかもしれない。
- (Q) シミックやPMDAの方のお話がきけて、貴重な機会でした。どうもありがとうございました。
-